



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 本州化学工業株式会社

コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船越 良幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和智 達也

TEL 03-3272-1482

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,388	△0.3	1,453	△13.4	1,436	△19.6	791	△24.9
23年3月期第3四半期	12,426	14.0	1,678	568.8	1,785	188.5	1,053	360.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 601百万円 (△26.8%) 23年3月期第3四半期 820百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	68.90	—
23年3月期第3四半期	91.71	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,950	12,915	60.0
23年3月期	19,780	12,498	58.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,976百万円 23年3月期 11,538百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	4.1	2,000	5.2	2,000	0.9	1,000	2.4	87.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	11,500,000 株	23年3月期	11,500,000 株
24年3月期3Q	18,493 株	23年3月期	18,493 株
24年3月期3Q	11,481,507 株	23年3月期3Q	11,483,331 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）における経済環境は、東日本大震災の影響による景気の大幅な落ち込みから緩やかな回復への兆しがみられたものの、円高が長期化するなかで、欧米の財政問題を背景とした海外経済の減速や新興国の成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境も、当社主力製品と関連のあるIT関連機器・デジタル製品の一部について生産・在庫調整による需要減退がみられるとともに、市場のグローバル化の進展により競合他社との競争がますます激化するなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、収益の改善と向上を図るため、主力製品の拡販と新製品の開発促進に傾注するとともに、経営全般にわたるコスト競争力の強化に全力を挙げて取り組んでまいりました。

その結果、売上高は12,388百万円（前年同四半期比0.3%減）となり、営業利益は1,453百万円（同13.4%減）、経常利益は1,436百万円（同19.6%減）、四半期純利益は791百万円（同24.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <化学品>

##### ・トリメチルフェノール

クレゾール誘導品の主力製品であるトリメチルフェノールは、主に家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料として、主に中国及び欧州向けに輸出しております。

当第3四半期におけるトリメチルフェノールの販売状況は、前年同期に比べ、販売数量及び売上高のいずれも大幅に減少しました。その主な要因は、前年同期において欧州供給サイドのトラブル発生に伴う当社からの緊急出荷という特殊事情により売上高が急増したことや、昨年の秋口からのユーザーサイドでの生産・在庫調整により需要が減退したことによるものであります。

##### ・その他クレゾール誘導品

酸化防止剤の原料である3M6Bは、上記のトリメチルフェノールと同じ特殊事情により売上高が前年同期に比べ大幅に減少しましたが、酸化防止剤の精製BHTの販売が堅調な需要を背景に概ね順調に推移したことなどにより、その他のクレゾール誘導品全体の売上高は、ほぼ前年同期並みとなりました。

##### ・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン・携帯電話等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性、精密成形性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料として使用されております。

これまで堅調な需要を背景に順調な販売を続けておりましたビフェノールは、昨年の秋口からのユーザーサイドでの生産・在庫調整により需要が減退したため、売上高は前年同期に比べ減少しました。

##### ・ビスフェノールF

ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は、加工性と金属接着性に特に優れており、ノンハロゲンタイプの難燃性積層板や粉体塗料等の土木・建設材料用途に使用されております。

これまで電子部品向けを中心とした堅調な需要を背景に順調な販売を続けておりましたビスフェノールFは、昨年の秋口からのユーザーサイドでの生産・在庫調整により需要が鈍化したものの、それまでは順調な販売を続けることができたため、売上高は前年同期に比べ増加しました。

この結果、化学品セグメントの売上高は5,499百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント利益は156百万円（同74.6%減）となりました。

#### <機能材料>

##### ・フォトレジスト材料

フォトレジスト材料は、半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）の製造過程で使用されております。

当第3四半期におけるフォトレジスト材料の販売状況は、前年同期に比べ、販売数量及び売上高のいずれも大幅に減少しました。その主な要因は、LCD用がユーザーサイドでの生産・在庫調整により期全般を通じて販売不振であったこと、さらには、これまで概ね堅調な販売を続けていた半導体用も、第2四半期（平成23年7月～9月）からユーザーサイドでの生産・在庫調整により販売が落ち込み始めたことによるものであります。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールは耐熱性、光学特性に優れており、自動車用部品や光学・電子部品用途向け特殊ポリカーボネート樹脂やエポキシ封止材・積層板用途向け特殊エポキシ樹脂の原料として使用されております。

当第3四半期においては、光学・電子部品用途向けを中心に需要が概ね堅調に推移したため、売上高は、前年同期に比べ増加しました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、3,080百万円（前年同四半期比4.4%減）、セグメント利益は932百万円（同7.2%減）となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車用部品向けの特種ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売されており、当第3四半期においては、引き続き需要の拡大を背景に販売数量が大幅に増加したため、売上高は、前年同期を大きく上回りました。

・受託品

当第3四半期においては、受託数量が減少したため、売上高は、前年同期に比べ減少しました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、3,686百万円（前年同四半期比8.9%増）、セグメント利益は631百万円（同3.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて170百万円増加し、19,950百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加（653百万円）、商品及び製品の増加（908百万円）等により、前連結会計年度末に比べて1,277百万円増加し、12,621百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少（△1,077百万円）等により、前連結会計年度末に比べて1,106百万円減少し、7,329百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（422百万円）、未払法人税等の減少（△386百万円）、退職給付引当金の減少（△125百万円）等により、前連結会計年度末と比べて246百万円減少し、7,035百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（607百万円）、為替換算調整勘定の減少（△169百万円）等により、前連結会計年度末に比べ417百万円増加し、12,915百万円となりました。

この結果、自己資本比率は60.0%となり、前連結会計年度末に比べて1.7ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月8日に公表しました業績見通しの数字については、現時点で変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,570	4,223
売掛金	3,981	3,794
商品及び製品	2,548	3,457
仕掛品	355	392
原材料及び貯蔵品	634	492
その他	253	260
流動資産合計	11,344	12,621
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,236	4,159
その他（純額）	2,239	2,291
有形固定資産合計	7,476	6,450
無形固定資産		
投資その他の資産	113	65
その他	850	813
貸倒引当金	△4	—
投資その他の資産合計	846	813
固定資産合計	8,436	7,329
資産合計	19,780	19,950
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,807	2,230
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	—	1,400
未払法人税等	646	260
役員賞与引当金	25	19
その他	999	877
流動負債合計	4,479	5,787
固定負債		
長期借入金	1,400	—
退職給付引当金	1,240	1,114
役員退職慰労引当金	94	48
その他	67	84
固定負債合計	2,802	1,247
負債合計	7,281	7,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	9,123	9,730
自己株式	△11	△11
株主資本合計	11,625	12,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	5
為替換算調整勘定	△92	△261
その他の包括利益累計額合計	△87	△255
少数株主持分	960	938
純資産合計	12,498	12,915
負債純資産合計	19,780	19,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	12,426	12,388
売上原価	9,591	9,692
売上総利益	2,835	2,695
販売費及び一般管理費	1,156	1,242
営業利益	1,678	1,453
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	22	2
企業立地奨励金	8	6
その他	155	10
営業外収益合計	187	22
営業外費用		
支払利息	33	22
撤去費用	6	13
その他	39	3
営業外費用合計	80	39
経常利益	1,785	1,436
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益	1,769	1,436
法人税等	593	528
少数株主損益調整前四半期純利益	1,176	907
少数株主利益	123	116
四半期純利益	1,053	791

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,176	907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	0
為替換算調整勘定	△349	△307
その他の包括利益合計	△355	△306
四半期包括利益	820	601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853	622
少数株主に係る四半期包括利益	△32	△21

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,709	3,222	3,384	12,317	109	12,426	—	12,426
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	40	40	—	40	△40	—
計	5,709	3,222	3,424	12,357	109	12,467	△40	12,426
セグメント利益	614	1,005	651	2,270	29	2,300	△621	1,678

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△621百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△621百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,499	3,080	3,686	12,265	122	12,388	—	12,388
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,499	3,080	3,686	12,265	122	12,388	—	12,388
セグメント利益	156	932	631	1,720	32	1,752	△299	1,453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△299百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△299百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(重要な設備投資)

当社は、平成24年1月11日開催の取締役会において、次のとおり当社の連結子会社であるハイビス社における特殊ビスフェノール製造設備の増強について本格的検討に入ることを決議いたしました。

(1) 設備投資の目的

ハイビス社の特殊ビスフェノール（以下「本製品」という。）は、高耐熱性の特殊ポリカーボネート樹脂の原料として使用されており、現在主に自動車用途向けとしてバイエル社に製造販売されております。

本製品は、現在需要の拡大を背景に好調な販売を続けており、今後さらなる需要の拡大が見込まれるため、当社は、ハイビス社における本製品の生産能力増強について、本格的検討に入ることを決定いたしました。

(2) 設備投資の内容

ハイビス社の現有製造設備の隣接地に新たな製造設備を設置するもので、投資予定額は約40百万ユーロであります。なお、投資予定額は現時点での概算であります。

(3) 設備の導入時期

着工	平成24年8月予定
完工	平成26年3月予定
営業運転	平成26年7月開始予定

(4) 生産能力

増強生産能力 5,000トン／年（増強後の生産能力は10,000トン／年）